

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
トリニティカレッジ 広島医療福祉専門学 校	平成9年3月26日	中川 潔	〒730-0014 広島市中区上幟町8番18号 (電話)082-223-1164			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人木村学園	平成9年3月26日	理事長 木村 創	〒730-0014 広島市中区上幟町8番18号 (電話)082-223-1164			
目 的	医学的知識と工学的知識を併せ持つ医用工学に関する講義や実習および病院での臨床実習を通して、医療機器の操作および保守点検に精通した臨床工学技士を養成することを目的とする。					
分野	課程名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
医療	専門	臨床工学科	3年(昼)	3,285単位時間 (又は単位)	平成21年2月27日 文部科学大臣 告示第22号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	2,205単位時間 (又は単位)	450単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	630単位時間 (又は単位)	0単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	90人	6人	11人	17人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について 100点を満点とし、各科目60点 以上を及第とする。	
長期休み	■学年始め：4月1日～4月3日 ■夏 季： 1年次：7月23日～8月28日 2年次：7月30日～8月28日 3年次：なし ■冬 季：12月23日～1月9日 ■学 年 末：3月15日～3月31日			卒業・進級条件	・学年を通じて学業成績によって 総合的に判定する。 ・単位不認定の科目があれば進級・卒 業はできない。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無 ■長期欠席者への指導等の対応 欠課時数が1/5で保護者へハガキを郵 送。保護者と出欠状況を共有し、学生 の指導に連携して当たる。 担任制による学生指導と生活相談			課外活動	■課外活動の種類 臨床工学技士会への参加 ■サークル活動 (有) 無	

<p>主な就職先</p>	<p>■主な就職先、業界等 病院・クリニック ■就職率^{※1} 92.0 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 67.6 %</p>	<p>主な資格・検定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床工学技士国家試験受験資格 ・第2種ME技術実力検定 ・医療福祉環境アドバイザー ・工業英語能力検定 ・情報処理技能検定試験
<p>中途退学の現状</p>	<p>■中途退学者 12名 ■中退率 10.9 % 平成27年4月 1日在学者110名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 98名（平成27年3月卒業生を含む）</p> <p>■中途退学の主な理由 学業不振、進路変更、心身体調不調、学費支弁困難等の経済的な問題</p> <p>■中退防止のための取組 入学前に課題を課し、基礎学力の把握、向上に努める。 欠課時数が1/5で保護者へハガキを郵送。保護者と出欠状況を共有し、学生の指導に連携して当たる。 担任制による学生指導と生活相談。</p>		
<p>ホームページ</p>	<p>URL: http://hiroshima.trinity.ac.jp</p>		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

医療現場が求める臨床工学技士を養成するため、病院や臨床工学技士会の役職員である教育課程編成委員の意見を参考に、授業科目の開設や変更を行う。また、臨床実習先の実習指導者と密接な連携をとることにより、実際の医療現場でのニーズを把握し、最新の医療技術・機器に関する内容を授業に組み込むなど、定期的に授業の改善・工夫を行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年10月1日現在

名 前	所 属
宮本 照彦	一般社団法人広島県臨床工学技士会 会長
瀬尾 憲由	J A広島厚生連 広島総合病院 臨床工学科 科長
中川 潔	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 学校長
竹越 徹	産学連携企画室 室長(事務部長)
宮崎 洋一	教務部 部長
宅野 伸	臨床工学科 学科長

(開催日時)

第1回 平成26年10月20日(火) 18:30~20:00

第2回 平成28年 2月23日(火) 18:30~20:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身に付け、医療における臨床工学の重要性を理解し、患者への対応について学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することができるよう施設と連携を取りながら、実習・見学に取り組む。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
臨床実習	臨床工学技士としての基礎的な実践能力を身に付け、医療における臨床工学の重要性を理解し、かつ、患者への対応について臨床現場で学習し、チーム医療の一員としての責任と役割を自覚することを目的とする。各実習施設において、血液浄化装置実習、集中治療室実習および手術室実習、医療機器管理業務実習等の実習を実習指導者の指導の下、実習・見学を行う。	広島大学病院、土谷総合病院、呉共済病院、徳山中央病院、岩国医療センターなど14施設
医用工学概論Ⅰ(病院見学)	実際の病院での透析業務を見学することで、新入生に対して将来の自身＝臨床工学技士の仕事を具体的にイメージさせ、これからの授業に対するモチベーションを高めることを目的とする。	大町土谷クリニック、フェニックスクリニック、一陽会クリニック、J A広島総合病院の4施設
医用機器学概論Ⅰ(工場見学)	実際の医療機器製造過程を見学することによって、将来、臨床工学技士として自身が使用する注射器、注射針等の医療機器に対する理解を深めるとともに、より一層学習意欲を高めることを目的とする。	株式会社ジェイ・エム・エス 三次工場
医用機器学概論Ⅱ(工場見学)	実際の医療機器製造過程を見学することによって、将来、臨床工学技士として自身が操作する透析監視装置等の医療機器に対する理解を深めると	株式会社ジェイ・エム・エス 千代田工場

	ともに、より一層学習意欲を高めることを目的とする。	
解剖生理学（ブタの心臓の解剖）	人間の心臓と似た構造を持つブタの心臓を使い、心臓の構造及び機能の理解を深める。また、手術着を着用することにより、手術時の注意点、清潔・不潔の概念を理解する。	岩国医療センター
生体機能代行装置学実習Ⅱ（人工心肺装置の実習）	現役の臨床工学技士から人工心肺業務の実情や人工心肺装置の操作方法を学ぶことで、一層の知識・技術の向上を図る。また、臨床実習に対する心構えを指導する。	岩国医療センター
生体機能代行装置学実習Ⅰ（人工呼吸器の実習）	人工呼吸器の販売業者の方から人工呼吸器の機能、操作方法及び注意点を学ぶことで、人工呼吸器の一層の知識・技術の向上を図る。	コヴィディエンジャパン株式会社 広島営業所

3. 教員の研修等

（教員の研修等の基本方針）

高等職業教育機関の一翼を担っている専門学校の教育内容が高度化・複雑化している今日、教職員の資質向上を図ることは喫緊の課題である。そのため、本校においては、業界や企業が求める実務知識や効果的な指導方法を習得し教育内容や指導方法に反映することを目的として、関係専門職員、専門技術者を養成している諸施設・団体等において実施される一定の水準・実績を持つ研修・研究施設で研修させる。

年度初めに、学科ごとに自己申告書を踏まえた教職員の研修計画を提出させ、校長・事務部長・教務部長・学科長・学生課長からなる運営会議において協議・決定し、実施する。研修終了後、研修報告書を提出し、研修成果を報告させるとともに学科内において情報共有を図り、次年度以降の授業等の改善に資する。

4. 学校関係者評価

（学校関係者評価委員会の全委員の名簿）

平成28年2月1日現在

名 前	所 属
安西 和夫	学校法人進徳学園 私立進徳女子高等学校 校長
岡本 和也	卒業生代表（本校同窓会 会長）
梶原 穰治	学校法人虹山学園 理事長
後藤 忠啓	社会福祉法人慈楽福祉会 理事長
田中 亜左美	保護者代表
土谷 治子	特定医療法人あかね会 土谷総合病院 院長

（学校関係者評価結果の公表方法）学校ホームページ（以下URL）

URL : <http://hiroshima.trinity.ac.jp>

5. 情報提供

（情報提供の方法）学校ホームページ、学校案内、高等学校向け説明会等

URL : <http://hiroshima.trinity.ac.jp>

授業科目等の概要

(医療専門課程臨床工学科) 平成28年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			心理学	心理学的なものの考え方を学び、心理臨床および発達段階における心身の変化や課題について学習する。	1前	30	2	○		
○			国語表現法	出題の意図に沿った「良い小論文」を書くための基礎的な学習をし、理論および実践を通して「書く力」の向上を図る。	1前	30	2	○		
○			物理学	医療機器の原理・作用、生体に生じる様々な現象の基礎となる物理学の基本事項を、「考え方の過程」に重点を置き学習する。	1通	60	3	○	△	
○			化学	臨床生化学、臨床生理学や人体の構造と機能等の医学関連科目に必要な化学の基礎知識を学習する。	1前	30	2	○		
○			人間関係学	医療現場で不可欠とされる接遇をはじめ、コミュニケーション能力や対人関係スキルの向上を目的とし、グループワークなどを通し積極的に学習する。	1後	45	2	△	○	
○			医用英語	臨床工学技士として必要な医療機器関連英語、医学英語の基礎知識を学習する。	1通	90	3		○	
○			人の構造及び機能	人体の構造・機能について、特に解剖学的・生理学的観点に基づいた基本的知識の学習をする。	1通	60	2	○		
○			解剖生理学	臨床工学技士として必要な心・肺・腎についてその解剖および整理を理解し、実際の医療現場で求められる知識の基礎を学ぶ。	2前	30	1	○		
○			病理学概論	病理学という学問を知り、基礎用語を習得し、現場で遭遇する疾患の概念、機序を理解する。	1通	60	2	○		
○			基礎医学実習	臨床にて日常的に行われている様々な検査から、医学の基礎的な知識を実習を通して学習する。	2後	45	1			○

○		医学概論	医の倫理・関係法規・公衆衛生学など、臨床工学技士として修得すべき基礎知識を学習する。	1 前	30	1	○		
○		臨床生理学	ヒトの体を構成する細胞、組織、器官の働きを理解し、それぞれが協調して個体の生命活動をどのように維持しているかを学習する。	1 通	60	2	○		
○		臨床生化学	化学の知識を基に生化学の基礎知識の習得を行う。また、その知識を臨床生理学、人体の構造と機能等の医学関連科目に応用できるようにする。	1 後	30	1	○		
○		臨床免疫学	免疫全体のシステム、ウイルス、細菌、真菌や原虫に関する知識を学び、国家試験問題や他のクラス（病理学、薬理学、医学総論等）の理解度を深める。	2 後	30	1	○		
○		臨床薬理学	薬理学の基礎および考え方を学習し、疾患における薬物、薬剤の作用点並びに作用機序について学習する。	2 後	30	1	○		
○		看護学概論	看護の基本となる概念、健康の概念、看護の歴史、看護の役割、機能について学ぶ。また、職業人としての看護、医療従事者の倫理について学ぶ。	2 後	30	1	○		
○		看護学実習	看護師独自の機能である基本的日常生活援助技術を学ぶ。また、患者に安全・安楽に看護技術を提供することができるよう基礎看護技術を習得する。	3 前	45	1			○
○		応用数学	基礎解析、代数・幾何を中心とした数学を学ぶことによって数学的概念を理解することを目的とする。	1 前	60	2	○		
○		電気工学	医療機器の操作・メンテナンスを請け負う臨床工学技士として必要な電気に関する知識を深めることを目的とする。	1 通	90	3	○		
○		電気回路学	電気工学の基礎知識を問題を解くことで確実に身に付ける。また、第2種ME技術実力検定試験の過去問題解説および対策も行う。	2 前	60	2	○		
○		電気工学実習	医療機器の次々と新しくなる技術の習得には、電気工学の基礎知識が必要である。この実習を通して、電気工学の分野における各種法則の理解を深める。	1 後	45	1			○
○		電子工学 I	近年の医療機器は、電気・電子・情報工学など幅広い基礎知識を必要とする。そこで本講義では各種電子デバイス等の電子工学の基礎知識を理解することを目的とする。	1 後	60	2	○		

○		電子工学Ⅱ	電子工学Ⅰに引き続き、電子工学に関する基礎知識を確実に身に付け、理解することを目的とする。また第2種ME技術実力検定試験の過去問解説及び対策も行う。	2 前	30	1	○		
○		電子工学実習	実習を通して、ダイオードやトランジスタなどの基本的電子デバイスの特性や動作原理を理解することを目的とする。	2 前	45	1			○
○		機械工学Ⅰ	生体計測装置・生体治療機器は様々な物理現象を応用している。それらの機械の原理構造を理解する手助けとなるよう、力学などの物理学的基礎知識を学習する。	1 後	30	1	○		
○		機械工学Ⅱ	機械工学Ⅰに引き続き、物理学的基礎知識を確実に身に付ける。また第2種ME技術実力検定試験の過去問解説及び対策も行う。	2 前	30	1	○		
○		放射線工学	放射線の性質および生体への影響を学習する。また、画像計測、画像診断への応用を学び、各画像診断装置の特徴を勉強する。	2 前	30	1	○		
○		計測工学	計測の定義と目的を明らかにし、基本的な物理量の定義、単位関係を体系的に学ぶ。また、誤差の発生原因を理解し、正確さを表現する統計的手法を学習する。	2 通	60	2	○		
○		システム工学	システム制御に関する基礎知識、さまざまなシステムの特長、制御方法を学ぶ。また、臨床工学技士国家試験過去問題の解説も行う。	2 後	30	1	○		
○		情報処理工学	情報処理の基礎や実際に処理を行うコンピュータなどについて学習する。また、『情報処理活用試験』や『ITパスポート試験』の習得をめざす。	1 通	60	2	○		
○		システム・情報処理実習	パソコンの操作に慣れ、ワープロや表計算ソフトの操作を習得する。さらに、プレゼンテーションソフトを利用した発表の基本的な流れについて学習する。	1 通	90	2			○
○		通信工学	社会のさまざまな分野に浸透し、私たちの日常を支えているデータ通信において、その基礎を学習する。	2 通	60	2	○		
○		医用工学概論Ⅰ	医療機器の取り扱いに必要な物理・化学の知識と生体の物性的特性を学習し、臨床工学技士に必要な知識の礎を形成する。	1 通	60	2	○		
○		医用工学概論Ⅱ	医用工学概論Ⅰから引き続き、臨床工学技士の業務上必要となる内容を学習するとともに医療安全の視点も加えた知識について学習する。	2 通	90	3	○		

○		物性工学Ⅰ	人の生命を扱う上での最も基本的かつ重要な学問である生体物性を理解し、医用機器の安全性との関係も合わせて習得する。	1 後	30	1	○		
○		物性工学Ⅱ	物性工学Ⅰに続き、生体の性質（特異性）を理解し、医用機器の安全性との関係も併せて習得する。また、第2種ME技術実力検定試験対策も行っていく。	2 前	30	1	○		
○		材料工学	医用材料の取り扱いに対する知識、安全な治療を遂行する上で必要となる各種法規や安全基準など、材料工学に関する技術を学習する。	2 後	30	1	○		
○		医用機器学概論Ⅰ	医用工学の講義と並行しながら、より深い医用機器の知識を得る。各機器の原理と構造、使用上の注意と安全など幅広く講義を行う。	1 通	60	2	○		
○		医用機器学概論Ⅱ	医用機器学概論Ⅰに引き続き、医用工学の講義と並行しながら、より深い医用機器の知識を得る。各機器の原理と構造、使用上の注意と安全など幅広く講義を行う。	2 前	30	1	○		
○		医用治療機器学	医用治療機器の特徴・作用原理・生体作用を中心にして各装置を学習する。また、治療機器が多数使用される手術室の詳細についても合わせて学習する。	3 通	60	2	○		
○		生体計測装置学	生体計測装置の特徴・構成から、測定原理・測定方法などについて詳しく学習する。また、測定の対象となる生体信号についての知識も併せて学習する。	2 通	60	2	○		
○		医用機器学実習	臨床工学技士は生体計測用ME機器の適切な操作と保守が重要である。本実習では、各装置の基本的操作と特性について学習し修得する。	2 後	45	1			○
○		生体機能代行装置学Ⅰ	生体機能代行装置の基礎を確実に把握する。特に原理及び病態との関係など重点的におさえるようにする。	2 通	90	3	○		
○		生体機能代行装置学Ⅱ	生体機能代行装置の基礎から応用までを網羅し、実際の業務に役立つ内容を学習する。	3 通	120	4	○		
○		生体機能代行装置学Ⅲ	生体機能代行装置の応用として、かなり専門的な部分まで学習する。特に合併症、事故対策など重点的に学び、できる限り実践で役に立つ知識を身につける。	3 通	90	3	○		
○		生体機能代行装置学実習Ⅰ	生命維持管理装置を実際に操作することにより基本原理、機能をしっかりと把握する。また、種々の計測を通じて各装置の操作・管理方法を習得する。	2 後	45	1			○

○		生体機能代行装置学実習Ⅱ	生命維持管理装置を実際に操作することにより、各装置の特徴、特に内部構造を実習する。またプライミング、回路交換などを速やかに行えるよう繰り返し練習する。	3前	45	1			○
○		臨床医学総論Ⅰ	臨床工学技士の業務に必要な知識を中心に臨床医学について幅広く学習する。	2通	60	2	○		
○		臨床医学総論Ⅱ	各系統の疾患の原因と特徴及び診断法と治療法を理解する。	3通	60	2	○		
○		臨床医学総論Ⅲ	腎臓病・泌尿器疾患及び消化器疾患・血液疾患を基礎から幅広く学び、臨床工学技士として現場で有用な知識を習得する。またICU、オペ室についても深く理解する。	3通	60	2	○		
○		医用機器安全管理学Ⅰ	医用機器の安全管理は臨床工学技士に求められる重要な業務である。この講義では、医用安全の基礎から電気的安全の基礎となる知識を学習する。	1後	30	1	○		
○		医用機器安全管理学Ⅱ	本講義では、電流の人体に対する影響からJISによるME機器・設備の安全基準、ME機器の保守管理といった範囲にわたって学習する。	2前	30	1	○		
○		医用機器安全管理学Ⅲ	医療機器は定期的な保守点検および管理が不可欠である。本講義では関係法規を含め、臨床工学技士としての役割と社会的使命について学習する。	3前	30	1	○		
○		医用機器安全管理学実習	生体機能代行装置をはじめ、計測装置、治療機器など操作・メンテナンスに関する安全について系統的に実習する。	3前	45	1			○
○		医療環境学	感染症や感染経路、予防法や関係法規について学習する。またスタッフ間のコミュニケーションについての手法、自分のためのセルフケアなども学習していく。	2後	30	1	○		
○		関係法規	臨床工学技士として知っておくべき、また守るべき法について学ぶ。臨床工学技士法を中心として、関係する法規について解説する。	3前	30	1	○		
○		臨床実習	臨床工学技士として基礎的な実践能力を身につけ、医療における臨床工学の重要性や患者への対応について臨床現場で学習する。	3通	180	4			○
○		医用工学演習Ⅰ	国家試験で出題された問題の解説を行うとともに、演習問題を通して医用工学の基礎を確実に理解する。	2後	90	3		○	

○		医用工学演習Ⅱ	国家試験の過去問を中心にオリジナル問題も交えて、学生の学力アップを図る。各科目別に問題の傾向やポイントを徹底して学んでいく。	3通	210	7		○	
○		一般教養	就職に対する意識を高め、就職活動に必要な一般的な教養を身につける。また、医療現場で働く社会人として必要とされる知識や技能を習得する。	3前	30	1	○		
合計			62科目	3, 285時間 (107単位)					